

文化情報

あなたが
主役!!
ふるさと
文化!!

1994年(平成6年)12月1日(季刊)

第5号

発行所

財団法人 中條文化振興財団

〒760 高松市中央町5番28号 青井ビル4階

TEL・FAX (0878) 34-6790



今日は「文化の日」。この日に授与される県文化功労者に、今年は、財団理事長の北川保夫氏が選ばれた。心からお喜びを

申し上げる次第である。文化の日記念懇談会での席上、北川氏は、日本料理の「心と技」にふれ、世界中に出かけて各国の味も知つたが、一番おいしくのはおふくろの味、心の調味料、愛を伝えることの大切さを説き、「生活文化、食文化」の分野での初受賞を特に喜ばれ、強調された。

北川氏は香川日仏協会設立五十周年記念「トルコ友好の旅」に日仏協会理事として、フランスへ、門脇氏は十一月十八日より一ヶ月間パリで開催予定の氏の個展に出席

「文化の日」に想う

財団法人 中條文化振興財団
理事 入野昭三
(香川医科大学長・香川日仏協会会长)

育ち、ありあわせのままで一生を終えたい。今「愛」をテーマにした百号二十五点の油絵の連作

のため旅立たれる。正に「讃岐の丘から世界に発信」である。

昭和六十三年、文化活動部門で県文化功労賞を授与された中條晴夫財団顧問の一人間最後に残ることか、▼日本人は何かに拍手が力強く弾んでいたことか、▼日本人は何かにつけ軽重を口にする民族である。しかし慶事には大小や軽重はあるまい。区別・差別しないところに「文化」が存在する。そうすることが文化であり、人間本来の姿なのだ。

二人に共通しているところを感じたことは、北川氏の料理にしても、門脇氏の

画にしても、その原点は「讃岐の風土」とともにあること、そして両氏の文化への「情熱」と「執念」であった。

輪和話

芸術文化の秋を迎えて、ノーベル文学賞をはじめ文化勲章・文化功労賞・文化奨励賞など、文化人への褒賞のニュースが花ざかりである。当財団でも十月三日に、平成六年度の「財団賞」を贈呈し、同時に「文化団体活動の助成金交付」二件を発表した。▼地域文化の向上・発展に懸命の努力をする人びとに、ささやかなプレゼントである。▼受賞者の顔が晴れやかに輝いていた。そして歓びの言葉の何とさわやかであったことか。列席者の贈る拍手が力強く弾んでいたことか、▼日本人は何かにつけ軽重を口にする民族である。しかし慶事には大小や軽重はあるまい。区別・差別しないところに「文化」が存在する。そうすることが文化であり、人間本来の姿なのだ。

（N）

1994年12月1日発行

吉岡氏は、農村歌舞伎「祇園座」の指導者として各種公演に精力的な活動をする一方、中・高生に歌舞伎や三味線を指導するなど、伝統芸能の後継者育成に情熱を注いでいる。



吉岡正智氏



白鳥町虎頭舞保存会

白鳥町虎頭舞保存会は香川県指定無形民俗文化財「虎頭の舞」を毎年、白鳥神社の秋祭に奉納する傍ら、全国青年大会など数多くのイベントに参加し、その名声を全国に広めた。

この虎頭の舞は、三百有余年の伝統を持つ郷土芸能である。

虎の縞模様のゆたんの中に二人の若衆が入って舞い、「国姓爺合戦」にちなんで、和唐内に扮した少年が虎を退治する趣向である。

舞には数箇の太鼓と笛振りの少年が参加して盛りあげる全国的に珍らしい伝統芸能である。

第二回財団賞を贈呈!!

平成六年十月三日、午後一時から百十四銀行本店六階会議室において、財団法人中條文化振興財団の「第二回財団賞」の贈呈式が行われた。財団賞は、地域文化の振興発展に寄与した者、または団体を奨励することを目的に設定された表彰制度で、今度で二回目である。

今回の受賞は、伝統芸能の伝承者の吉岡正智氏（六八）＝香川郡香川町川東上＝と、白鳥町虎頭舞保存会（三好晃義代表）の一個人・一団体である。

当財団が、県下の文化団体活動の育成事業として、助成金を交付する制度により、本年度の交付団体が決定した。

ユージカル・肥土山農村歌舞伎保存会
三十一日に〆切り、六団
体の応募があつた。
その後、二回にわたり
助成金交付審査委員会を
経て、劇団ユーチューバー
カル（山崎恒人代表）＝大
川郡津田町＝と、肥
農村歌舞伎保存会
寿代表＝小豆郡土
＝の二団体に決定し
それぞれ三十万円
付される。

三十一日に〆切り、六団体の応募があつた。
その後、二回にわたり助成金交付審査委員会を経て、劇団ブチミュージカル（山崎恒人代表）が大賞を受賞した。農村歌舞伎保存会寿代表（小豆郡寿）は、川郡津田町と肥前市（今宿町）の二団体に決定した。それぞれ三十万円が付される。

県下の文化団体活動の育成事業として、平成七年度の助成金を交付しますので申請してください。

◆助成対象

団体で将来性の予想される団体。

②五年以上の団体で既存の殻をや
ボーネンをとて、日本へ。

より新分野を目指している団体

(3)未分野の開拓に努力しようと、してある団体。

◇美施期間 每年四月一日から

翌年三月末日までの事業とする。

◆申請書の提出 平成七年一月

から二月末日までとする。

◇助成金額と件数
一件三十万

円を限度とし、三件まで。

◆その他 右記した以外の規程

についての詳細は 財団・市町教育委員会・市町文化協会に問い合わせさせてください。

平成六年度 助成金交付団体決定

土の香り豊かな

地方文化の保存・伝承



会长 森山 裕

設立当時は、二十団体

の文化祭》がある。早い

最後に、文化サークル活動を通して、豊かな人間性と生きがいに満ちた生活を営むことによって本町の町民憲章の一つに掲げられている文化の振興に大きく貢献できるよう頑張っていただきたい。

（いけばな展）

の加入で発足したが、その後、国民経済は飛躍的に高まり、所得水準の向上や価値観の多様化に伴い、余暇志向が高まり、社会活動への参加等、精神的な豊かさを求める傾向が強まり、一生涯、より楽しく・より幸せに生きたいという願いにより、各種の文化活動と相俟つて様々なサークルが誕生した。

（文化展）

毎年十六団体、約二百

もので、今年で第十三回を数え、この一年間、会員が日々研鑽を重ね、内容は例年以上、質、量共に高度なものになつており盛大に開催している。

芸能祭



毎年十六団体、約二百人の会員が参加し、三日間にわたり、絵画・書道・クラフト等の展示を行なうほか、各展示コーナーにおいて即売も行つている。

（芸能祭）

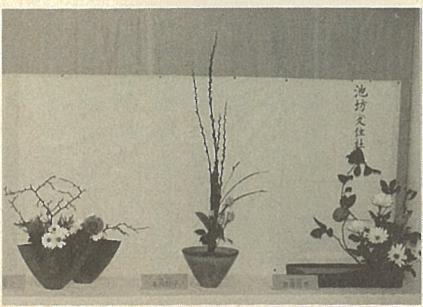
現在、加入五十八団体構成会員約九百人を有し、組織は一段と充実した。大正琴・カラオケ・民謡・大正琴・コラス・フオーレダンス等、十八団体約二百人の会員が、一年間の練習の成果をステージ一杯発表し、好評である。

（活動の状況）

宇多津町文化協会は、町内の部門別文化団体、並びにこれに賛同する個人の連絡と協調を図るとともに、郷土文化の創造発展と文化水準の向上促進に資するため、昭和五十六年十一月三日（文化の日）に設立された。

従つて、事業目的は、郷土文化の開発、調査研究、継承等があげられる。

協会活動で主な事業は町民コミュニティ会館を拠点とした『うたづ秋



サークル紹介

詫問吹奏樂團

心のふるさとわれらが楽団

詫間吹奏樂団は詫間町在住および近隣の吹奏樂を中心とした音樂を愛する者の集まりである。発足は昭和六十年なので、そろそろ十周年を迎えるようとしている。

現実の僕らのハントを
考えてみると、詫問吹奏
楽団という名称はいかに
も堅苦しく、没個性で、
多少とつつきにくい感が
しないでもない。

人は変われど……といつたところだろうか。

メンバー構成はおもしろい。大学のオーケストラで本格的に活躍し、今も市民オーケストラで演奏する傍ら吹奏楽団にも積極的に参加している医師や学生時代吹奏楽コン

クールの全国大会に連続出場した経歴をもつ公務員、音楽大学を卒業し、音楽関係の仕事に従事しながら熱心に参加していく女性団員もいれば、僕のように管楽器の経験は中学時代の三年間だけという者や、ほとんど独学で楽器に親しんできた会社員など実に多様である。おのずから個々の演奏レベルにも差がある。個人技術で言えばまさにプロ級（？）から初心者まで様々である。

アマチュアの音楽集団では当然の現象だろうが、わが訛間吹奏楽団が誇ることは、それらレベルの違う団員相互が害貝に和氣あいあいと活動できている点だろう。

演奏技術の高い者は、それほどない者に対し

クールの全国大会に連続出場した経歴をもつ公務員、音楽大学を卒業し、音楽関係の仕事に従事しながら熱心に参加している女性団員もいれば、僕のように管楽器の経験は中学時代の三年間だけという者や、ほとんど独学で楽器に親しんできた会社員など実に多様である。

先輩として寛容であり、あるいは師として、あるいは
また初心者は彼らを目標
に、より演奏水準を高め
ようと努力する……と言
葉では言い易く、現実の
アマチュアバンドでは結
構難しいことが実に自然
に行われている。とても
ムードがよい。(ちょっと
と誉めすぎかな……。)
これは団員一人一人が
真に音楽が好きであり、
しかもその受容範囲とで
も言うべきものが大きい
からだと思われる。
だからレパートリーも
結構広いし、いろいろな
ジャンルの曲に対する取
り組みも平等かつ自然で
ある。

ても師として、あるいは先輩として寛容であり、また初心者は彼らを目標に、より演奏水準を高めようと努力する……と言葉では言い易く、現実のアマチュアバンドでは結構難しいことが実に自然に行われている。とてもムードがよい。（ちょっとと讃美すぎかな……。）



くあたりまえだけど、とにかく忘れられがちな音楽に対する姿勢が詫間吹奏楽団には自然体のままで貫かれており、それが一

ンサートなどの演奏会を開催している。

特に野外で行われる
「たそがれコンサート」
は夏の風物として定着し
つつあり、町民の人々に
親しまれている。

サンバやマンボでトロピカルな気分に酔い、唱歌をはじめとする日本の歌で夕暮れ時のしみじみとした情熱を味わうことができるこの催しは、地元に根ざした気どらない活動であるという点で実に詫問吹奏楽団らしい催

しだと言えるだろう。
メンバーセの中にはこの
楽団で活動を続けたいか
ら、という理由でUターン
して若者の幾つかいる。

した若者も幾人かいる
地方において若者をひきつけるというだけでも
サークル活動としての存在価値があるというもの
だろう。

「心のふるさとわれら
が楽団」である。

(ホルン奏者 横山)

● 雨の日の訪問

(くわたあきら) 先生宅に伺ったのは、秋雨の降る日であった。

この季節の雨を時雨と形容するが、降つたり止んだりの激しいものに反して、やさしく周りの全てを濡らすように、心に染み込んだ印象の残る探訪になつた。

それは季節の雨模様だけでなく、桑田家の雰囲気によつたのかも知れない。就実女子大学教授を退官されても、学問一筋に明け暮れる穏やかな毎日である。

一語一語を丁寧に話す

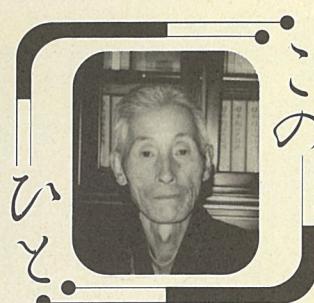
応対は聞く者に言葉の大切さを教え、充実したひとときを感じさせた。

ご夫婦二人の暮らしぶりから、先生の日常を探り出そうとしても、無口な人には通用しない。

戦前派の日本男児はおしなべて寡黙だが、学者

肌の気難しい一面と反面の照れ屋が相乗して、静かな時間が過ぎるばかりであった。

ところが、中山城山(なかやまじょうざん)の話に及ぶや、嬉々として延々として先生の話は続いた。



● 城山と全讃史

中山城山(讚岐が生んだ偉大な儒学者)の全讃史(ぜんさんし)を現代語訳したいきさつは、知人より持ち込まれた漢文体の本の読み下しであつた。

「国語学が専門ですの

けましたが、中山城山の人柄にすっかり魅せられてしましました」

まずは開口一番である。彼は江戸時代の朱子学全盛の世にあって、立身出世の道具と化した学問の世界を憂い、義憤の念を募らせていた。

著書『全讃史』は郷土の歴史・風土・民情や信仰にいたる事実を、自らが足を運んで調査して記録したものである。

「さしづめ江戸時代の讃岐大百科事典でしようか」

質問に先生の解釈はもうひとつ深い。

「緒々の知識を拾い読みするように、安直に便

利なものと狹義な解釈をすべきではありません」

城山が生涯を賭けての大事業、全讃史編纂(へ

いささか悲愴だが、志に燃える者にとって、在野での活躍は難しい。

彼は万感の思いで、この書が明君に採用される日を願つたに違ひない。

時代に迎合した流行を嫌つた城山に、時代に見出された脚光を浴びる日がやって来る。

城山の最晩年とはい

た。これを活用あれといふ、いわば、政治改革への建白的な意味合いを持つ。

单なる資料や知識の羅列と見ては、城山の熱情が正しく評価できない。藩政に参与して衆民の痛苦を救済しようという想いが遂げられない時に、せめて何時の日にか、藩主に実情を知らしめたい過去現在の実情である。

更に、そこから見い出しでもらいたい未来の善政への期待であり、声無き進言の結集だという。

いささか悲愴だが、志に燃える者にとって、在野での活躍は難しい。

彼は万感の思いで、この書が明君に採用される日を願つたに違ひない。

時代に迎合した流行を嫌つた城山に、時代に見出された脚光を浴びる日がやって来る。

(よりひろ)に登用され、晴れの日を迎える。

高潔にして、利己的なことを嫌つた心のきれいな人柄は、時代におもねることなく……

江戸時代の城山はそのまま、現代の桑田先生のお人柄に重なつて見えてくる。

城山の人と思想を世に知らせたいと、三年の歳月をかけ『口訳全讃史』を仕上げた原動力は、時代を越えて照らし合つた二人の、重層が生み出したエネルギーかも知れない。

すでに散逸したものもあり、今でき得る限りの資料の収集をしておかねばと、先生の焦燥と情熱は並行する。

世間一般では穏やかな晩年の域ながら、城山は燃え続けてお若い。

● ご本の似合う人

(よりひろ)に登用され、晴れの日を迎える。

高潔にして、利己的なことを嫌つた心のきれいな人柄は、時代におもねることなく……

江戸時代の城山はそのまま、現代の桑田先生のお人柄に重なつて見えてくる。

城山の人と思想を世に知らせたいと、三年の歳月をかけ『口訳全讃史』を仕上げた原動力は、時代を越えて照らし合つた二人の、重層が生み出したエネルギーかも知れない。

すでに散逸したものもあり、今でき得る限りの資料の収集をしておかねばと、先生の焦燥と情熱は並行する。

世間一般では穏やかな晩年の域ながら、城山は燃え続けてお若い。

● ご本の似合う人

ある。(妹尾共子)

文化の器

豊浜町ちょうさ会館

三豊郡豊浜町大字姫浜982-1

TEL (0875) 52-5500

文化文政年間頃から始まつた「豊浜ちょうさ祭」は、毎年十月十三日から十五日の三日間行なわれ、二十数台の金糸銀糸の刺繡で飾られた豪華絢爛な「ちょうさ」(太鼓台の別名、高さ約五メートル、重さ約一トン)が乱舞する祭りで、毎年県内数万人の人出で賑わいます。

そこで、年間を通して「豊浜ちょうさ祭」の熱気と感動が味わえるように、ふるさと創生事業の一環とした「豊浜町ちようさ会館」が平成五年

三月二十七日オープニングしました。国道十一号線沿いに、建物は、シンプルな様相の中にもエネルギッシュな「ちょうさ祭」の熱気に満ち溢れており、各種団体より、建築部門優秀賞、優秀照明施設賞等を受賞しました。

勇壮華麗な祭絵巻をいつでもご覧いただけます。

ちようさ会館には、三つの展示室があります。

第一展示室(ちようさ祭の歴史)には、実物資料や、写真、イラストレーション、音声などで、江戸時代に始まるちようさ祭の歴史と、太鼓台のルーツや分布を紹介しています。また、祭に重要な役割を果たして来た、貴重な实物の「席船」も展示しています。

第二展示室(ちようさ祭体験シアター)では、

三〇〇インチの巨大スクリーンに映し出される映

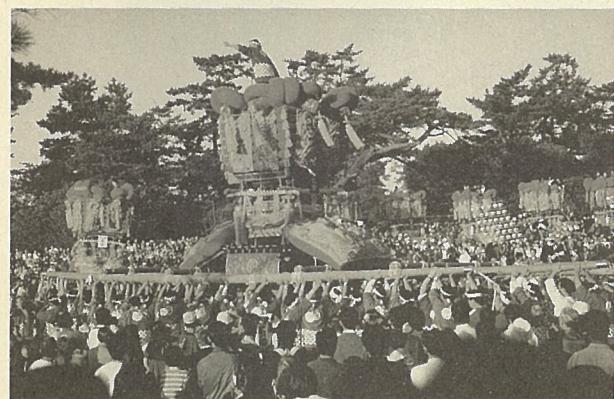
像や、スライド、照明、音響、本物の「ちょうさ」など会場全体を使つて三日間にわたるちようさ祭の熱い感動を余す事なくお楽しみいただけます。

像や、スライド、照明、音響、本物の「ちょうさ」など会場全体を使つて三日間にわたるちようさ祭の熱い感動を余す事なくお楽しみいただけます。

像や、スライド、照明、音響、本物の「ちょうさ」など会場全体を使つて三日間にわたるちようさ祭の熱い感動を余す事なくお楽しみいただけます。

像や、スライド、照明、音響、本物の「ちょうさ」など会場全体を使つて三日間にわたるちようさ祭の熱い感動を余す事なくお楽しみいただけます。

像や、スライド、照明、音響、本物の「ちょうさ」など会場全体を使つて三日間にわたるちようさ祭の熱い感動を余す事なくお楽しみいただけます。



います。

「さぬき豊浜ちょうさ祭」は、第九回国民文化祭・みえ'94に、西日本を代表する祭りとして、参 加いたしました。

* * *

開館時間 十時～十七時
休館日 年中無休
入場料 大人五百円、学生四百円、こども一百五十円

催し物情報

●香川県民ホール ☎(0878)23-3131

12/ 6	桑田佳祐コンサート	(有)
9	井上陽水コンサート	(有)
11	ヒロ&テリーダンス、スタジオ公演	(有)
16	父と娘のブリリアントコンサート	(有)
17	松山千春コンサート	(有)
18	香川大学合唱団第38回定期演奏会	(有)
21	T-BOLANコンサート	(有)
23	高松冬のまつり「劇団ブチミュージカル公演」	(整)
25	香川県吹奏楽祭	(有)
1/ 21	玉藻能「狂言会」和泉流野村万蔵他	(有)
24	東京クワルテットコンサート	(有)
26	ウェイーン・モーツアルトオーケストラ公演	(有)
27~28	Mr·Childrenコンサート	(有)
29	イタリア国立放送交響楽団公演	(有)
2/ 5	THE・BOOMコンサート	(有)
9	オルランドリポディ楽団公演	(有)
26	鈴木雅之コンサート	(有)

●香川県文化会館 ☎(0878)31-1806

~12/ 4	「館蔵名品展」各分野の93点展示	(有)
~12/ 25	常設展「藤川勇造展」	(有)
'95/ 1 / 7~22	日本伝統工芸展	(有)
2/ 23	江戸落語 立川談志独演会	(有)

●サンメッセ香川 ☎(0878)69-3333

12/ 10	講演会「日本人のライフスタイルの謎を探る」	(無)
'95/ 1 / 27~29	フラワーフェスティバルかがわ'95	(無)

●内海町 ☎(0879)82-2111

12/ 2	杉山邦博講演会「心・技・体~限りなき挑戦」	(無)
-------	-----------------------	-----

●香川町 ☎(0878)79-0231

12/ 4	直島町との定例交流会(直島町公民館)	
-------	--------------------	--

●大内人形劇場とらまる座 ☎(0879)25-0400

毎月第2第4の金・土・日曜日の午前と午後上演	(有)
毎火~日曜日 ミニチュア児遊館	(有)
毎月第1第3の土・日曜日の午前・午後ハイビジョン	(有)

●大野原町中央公民館 ☎(0875)54-3111

'95/ 1 / 22	第18回芸能祭	(無)
-------------	---------	-----

●観音寺市民会館 ☎(0875)23-3939

12/ 3	まんが映画会	(有)
15	梅沢武生劇団梅沢富美男特別公演	(有)
25	冬休み子供大会	(無)
26	木管五重奏演奏会	(有)
'95/ 1 / 6	明治青年大学	
8	ウェストロックカーニバル	(無)
9	郷土文化大学	
22	アンデルセン物語公演	(有)
2/ 5	全日本アンサンブルコンテスト支部大会	(有)
26	第6回観音寺三豊地区大正琴演奏会	(無)

●観音寺市郷土資料館 ☎(0875)25-6001

~12/ 27	第3回西山家文書展	(無)
---------	-----------	-----

●坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

12/ 3	坂出混声合唱団定期演奏会	(有)
-------	--------------	-----

●坂出市民ホール(続き)

12/ 11	坂出市民芸術祭(日舞公演)	(有)
17	テアトル・ローマン「息子です。こんなちは」	(有)
'95/ 1 / 5	香川ジュニア合唱協会演奏会	(有)
8	坂出商業高校吹奏楽部80周年記念演奏会	(無)
12	子ども音楽ひろば	(無)

●坂出市民美術館 ☎(0877)45-7110

12/ 2 ~ 6	香川県高等学校生活デザイン展	(無)
4 ~ 18	第9回ファミリー アート展	(無)
'95/ 1 / 11 ~ 18	第一美術展	(無)
19 ~ 22	香川県高等学校写真展	(無)
28 ~ 29	坂出市婦人会生活文化展	(無)
2 / 2 ~ 5	毎日児童生徒書き初めコンクール展	(無)
18 ~ 19	幼児画展	(無)

●志度音楽ホール ☎(0878)94-1000

12/ 3	ペートーヴェン3大ヴァイオリンソナタ演奏会	(有)
11	講演会「輝いて生きる」市田ひろみ氏	(無)
23	クリスマス親子映画会	(整)
27	親子映画会「ゴジラVSスペースゴジラ」	(有)
'95/ 1 / 8	新春歌の祭典	(無)
16	馬渢昌子ヴィオラリサイタル	(有)
2 / 19	高橋薰子ソプラノリサイタル	(有)

●善通寺市民会館 ☎(0877)62-7001

12/ 4	子どもフェスティバル	(無)
7	四国学院大学第14回吹奏楽定期演奏会	(無)
17	第15回ダンス部定例発表会	(有)
25	四国新聞クリスマス子供会	(無)

●善通寺東公民館 ☎(0877)24-8826

12/ 1 ~ 5	西香川秀作美術展(絵画・書道)	(無)
-----------	-----------------	-----

●高松市民会館 ☎(0878)39-2888

12/ 2	トルヴェールクワルテット公演	(会)
7	第19回高松短期大学定期演奏会	(有)
8	森毅氏文化講演会「人生は末広がり」	(有)
14	田端義夫ショー	(有)
16	穴吹学園祭「永井真理子コンサート」	(有)
20	高松冬のまつりライオンズコンサート	(整)
22	サンタクロース音楽祭	(整)
23	人形劇「セーラームーン」	(整)
24	クリスマススペシャルイベント	(整)
25	加ト吉ウインターコーラスフェスティバル	(無)
'95/ 1 / 14	新春関西初笑い大集会	(有)
15	親子教育映画	(有)
21	香大軽音コンボユニティ定期演奏会	(有)
22	新春ファミリー映画会	(有)
29	讃岐芸能蔓茶羅	(有)
2 / 1	堀米ゆづヴァイオリン・リサイタル	(会)
2 ~ 4	香川市民劇場・演劇集団円公演「桜の園」	(会)
6	平松愛理コンサート	(有)
10	高松市役所吹奏楽団第23回定期演奏会	(無)
11	新春恒例爆笑寄席	(無)
17	オペラガラコンサート	(有)
19	チャゲ&アスカコンサートムービー	(有)
26	名画鑑賞会	(有)
27	女性ドラマシリーズ「クラウド・ナイン」	(有)

催し物情報

●高松市図書館 ☎(0878)61-4501

- 12/18 クリスマスおたのしみ会(絵本劇等)
 '95/1/14 かるた会(当日参加可)
 2/9 作家と語るつどい高城修三氏
 11 絵本作家いわむらかずお氏講演会
 おはなし会(小学生向)12/8 '95 1/26 2/23
 　　〃(小さい子向)'95 1/11 2/8
 映画会(アニメ)12/10 '95 1/14 2/19
 　　〃(一般向)青春デエンデケデケ'95 1/22

●高松市美術館 ☎(0878)23-1711

- ~12/11 名作でつづる「トゥール美術館展」
 12/3 「コンテンポラリーミュージックonガムラン」
 15~18 高松市市民文化祭美術展
 20~25 香川県高等学校総合文化祭美術工芸展
 22~25 〃 書道展
 '95/1/6~8 毎日書道学会展
 12~15 由源香川書展
 16~19 高松一高生徒OB作品展
 18~22 青龍書道展
 26~29 玄画会展
 2/24~3/26 没後50年記念「マイヨール展」

●高松市歴史資料館 ☎(0878)61-4520

- ~12/25 開館二周年企画展「描かれし美の世界」
 '95/1/28~3/26 「鏡の美」

●高松市菊池寛記念館 ☎(0878)61-4502

- 12/3 菊池寛を語る集い「寛と讃岐の文人たち」
 '95/1/7 〃 「助人成瀬峰子」
 2/4 〃 「寛と演劇」

●土庄町 ☎(0879)62-0238

- '95/2/28 文学座公演(土庄町立中央公民館)

●丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

- 12/3 94年度ドラマコンテスト
 4 アニメ映画会
 7~9 演劇鑑賞教室「泣いた赤おに」「走れメロス」
 11 神代郁代ピアノリサイタル
 17 琴の調べ
 24~25 第19回四国地区高等学校演劇研究大会
 '95/1/15 第47回丸亀市成人式
 19 松原のぶえ演歌ショウ
 29 アレクセイ・レブチンスキーコンサート

●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7766

- ~'95/1/8 猪熊弦一郎遺作展-青春の軌跡-
 ~'95/1/8 勅使河原宏一雲とともにー
 1/14~2/26 ミルウォーキー美術館所蔵「20世紀美術の巨匠たち」

●ミューズホール ☎(0878)33-0013

- 12/4 たちばな芳香小品の会(日舞)
 9 ピアノコンサート
 10 香川大学ギター・アンサンブル定期演奏会

●ミューズホール(続き)

- 17 風の子守歌コンサート
 18 青少年ボランティアフェスティバル
 講演会「聞くだけで元気が出る話」
 12/23 香川クラリネットグループ第10回演奏会
 25 吹奏楽演奏会
 '95/1/21 明善高等学校第25回記念卒業演奏会

●綾南町 ☎(0878)76-1180

- '95/2月 コミュティカレッジ綾南一開催予定
 (綾南町農村環境改善センター)

●オリーブホール ☎(0878)61-0467

- 12/4 香川大学劇団エンブティ演劇公演
 18 〃 TAKEV定期演奏会
 '95/1/21 香川医大軽音HOTSTUFF定期演奏会
 22 香川大学軽音Bee定期演奏会

●セントラルホールウイング ☎(0878)33-0005

- 12/2~9 香川市民劇場「見果てぬ夢」12/8休演
 10~11 演劇公演「プレゼント」
 26 第3回ヴェリエコンサート
 '95/2/12 香川県子ども劇場「パペットポンポンショー」

●セントラルギャラリー ☎(0878)33-0005

- 12/1~3 湯浅益生陶芸展

●高松テルサ ☎(0878)44-3511

- 12/3 高松冬のまつりチャリティイルミネーション
 MessageInSilence(コンサート)
 12~14 麻酔メカニズム国際ワークショップ
 23 コレギュム ムジクム高松演奏会
 '95/1/8 詩吟臥流麗風会新春吟詠大会
 14 高松交響楽団コンサート
 15 第7回香川県小・中・高等学校リコーダーフェスコン
 2/10 田中裕子ピアノリサイタル

●高松三越 ☎(0878)51-5151

- ~12/5 第32回現代工芸美術家協会四国会展
 12/6~12 青峰重倫展・迎春用掛軸展
 13~19 市松人形展
 20~26 日本画洋画年末特別展・現代作家彫刻展
 27~'95/1/7 '95新春大絵画展(内覧会)
 1/10~30 '95新春大絵画展
 17~22 第14回香川いけばな展
 24~30 「写楽と歌麿」江戸の浮世絵展
 31~2/5 博多雛人形展
 2/7~13 里帰り薩摩錦手陶芸展
 14~26 日本画洋画百選展
 14~19 第43回春の洋蘭展

* (有)は有料、(無)は無料、(会)は会費制、(整)は整理券が必要(記号表示は判明したもののみ)

「文化情報」第6号は3月1日発行です。

次の期間(3月1日から5月末日)の情報を2月15日までにお知らせください。TEL・FAX (0878) 34-6790